

秋の街頭啓発 安全運転を呼びかけ



9月21日、秋の交通安全運動（9月21日～30日）の実施に合わせて、国道237号沿い美園地区集会所前で街頭啓発（旗の波運動）が行われました。信号機や横断歩道がない直線道路では、高速で走行する車両も多いことから、通過車両へ啓発資材を配布し、安全運転を呼びかけました。

村の出来事

9月・10月

村内の出来事、話題をお届けします

秋の味覚に舌つづみ 紅葉まつり

10月1日、占冠村農村公園において第36回占冠村紅葉まつりが行われました。会場では、なめこ汁をはじめ、ヤマベの塩焼きや鹿肉ロースト、さんまなどの海産物が販売され、村内外からの多くの来場者でにぎわいました。ステージでは、なめこ運びなどのゲームの他、同日に開催された富良野地区文化団体交流会に参加された4市町村の文化団体から、各種の芸能発表が披露されました。来場された皆様は、秋晴れの空の下、芸術と秋の味覚を堪能し、秋の1日を満喫していました。



日本赤十字社から占冠村分区へ表彰状

日本赤十字社創立140周年にあたり、占冠村分区が社業功労者特別表彰を受賞し、このほど表彰状が伝達されました。この表彰は、赤十字活動資金（社資）の募集にあたって、占冠村分区が毎年目標額を大きく超える顕著な活動を行い、赤十字奉仕団活動にも積極的に関わり組むなど、赤十字事業の進展に尽力した功績が認められたものです。今回の表彰は、村民の皆様をはじめ、村内事業所等の赤十字活動に対するご理解とご協力の賜物です。心より感謝申し上げます。



練習の成果を披露 学校祭、学芸会



9月10日に占冠中学校、トマム学校、9月24日に占冠中央小学校で、学芸会・学校祭が行われました。
子どもたちは、この日のために一生懸命練習してきた成果を披露しました。
学芸会などには子どもたちの家族をはじめ地域の方が来場し、劇や音楽発表を鑑賞しました。

トマム地区で第1回住民ワークショップ

次回は11月25日
ご参加ください



10月7日、トマムコミュニティセンターで、移住・定住に向けた魅力ある地域づくりを考えるワークショップが開催されました。
地域住民など約10名が参加した第1部では、オフィスマルマ代表の長谷川雅広さんがコーディネーターとなり、トマム地区の魅力や自然環境から考えました。
第2部では、北海道大学大学院教授の山中康裕さんがコーディネーターとなり、第2回ワークショップのテーマの掘り起こしを行いました。参加者からは、高校通学やトマム駅への移動などの交通、ボイラーの備え付けや所得制限のない住宅が必要などの住宅に関する課題、土曜保育やリゾート内の保育サービスの利用など、育児支援の必要性に関する意見が出されました。
第2回では、テーマ毎に話し合いを行い、優先的に取り組むべきことなどを明らかにしていく予定です。

トマム町内会で避難訓練



10月14日に、トマム町内会による水害を想定した避難訓練が行われ、約40名が参加しました。
避難所であるトマムコミュニティセンターへ避難した後は、消防山西支署長の講話や防災DVDの鑑賞、炊き出しの体験が行われました。

道の駅に発動発電機寄贈



一般社団法人 日本道路建設業協会北海道支部（中田隆博支部長）から、村に発動発電機を寄贈いただきました。
10月4日に道の駅内で行われた贈呈式では、富田正史幹事長から、「地域の皆さんや道路利用者のための道の駅などでご利用いただきたい。」と発電機が引き渡されました。
田中村長は「有効に活用させていただきます。」と述べて感謝状を贈りました。